

AVANOS

# 行動規範

知るべきことを知り  
すべきことをしよう

## 目次

<b>なぜ行動規範が必要なのか</b> .....	<b>3</b>
行動規範は私たち全員に適用されるもの .....	3
恐れずに懸念を共有しよう .....	4
報復禁止のポリシー .....	4
正直に報告するという事 .....	4
質問や懸念事項の報告のためのリソース .....	5
会計に関わる慣習や社内管理への違反 .....	5
コンプライアンス&倫理ヘルプデスクとオンラインでの報告 .....	6
行動規範に対する違反の可能性についての報告を受けたチームリーダーやその他の人々の責務 .....	6
行動規範への違反 .....	6
<b>チームとともに正しい行動を</b> .....	<b>7</b>
結社の自由 .....	7
多様性とインクルージョン、差別の根絶 .....	7
全世界の人々の人権 .....	8
職場の安全 .....	9
敬意を重んじる職場に .....	10
職場での暴力 .....	10
薬物とアルコール .....	10
<b>仲間とともに正しい行動を</b> .....	<b>11</b>
顧客とサプライヤ .....	11
ソーシャルメディア .....	12
競争 .....	12
当社製品の安全性 .....	13
従業員および患者さんのデータのプライバシー .....	13
競合他社に関する情報 .....	14
環境 .....	14
政府 .....	15
贈答品、接待、その他の便宜 .....	15
国際的なビジネスの展開 .....	18
<b>会社とともに正しい行動を</b> .....	<b>19</b>
利益相反 .....	19
機密情報 .....	21
社のリソースの使用 .....	22
記録の保管 .....	23
財務報告 .....	24
不正防止 .....	25
<b>正しい行動にこだわるのがアバノスの流儀</b> .....	<b>26</b>

## アバノスの従業員と委託業者の皆さんへ

CEO

—革新的な医療機器ソリューションの提供を通じて患者さんの生活の質を改善する—という使命に重点的に取り組む企業である私たちにとって、すべての行動において倫理的に物事を考え、適切に判断することの重要性はいくら強調してもしすぎることはありません。私たちは、これを日常業務の土台として、確固たるコンプライアンス文化を推進し、企業として戦略的な構想を実行していけるよう積極的に働きかけています。

私たちの今後の道のりは、お客様が私たちの提供するソリューションの重要性を認識し、私たちのブランドを高く評価し、私たちの約束の実現を信じてくれるかどうかにかかっています。社の行動規範に従って誠実に業務を行うことで、私たちはお客様に喜びを提供し、互いに意欲を高め合い、投資家に満足してもらえる能力を強化することができます。アバノスの従業員と委託業者が一丸となって、私たちが自らに課した高い倫理とコンプライアンスの基準を遵守した時に、**一患者さんにとって本当に大切なものを取り戻す最高の企業に—**という私たちのビジョンが実現されるのです。

当社の行動規範を熟読し、内容をしっかり把握するようお願いいたします。ご質問があれば、遠慮なくお尋ねください。社の評判を常に維持し、今後も継続して、力の及ぶ限り、世界中にいるお客様に資する企業になれるかどうかは、私たち全員の行動によって決まるのです。

どうぞよろしくお願い致します。

Joe Woody  
最高経営責任者



CEO

私たちは、一患者さんにとって本当に大切なものを取り戻す最高の企業に—という崇高なビジョンを掲げていますが、あらゆることが不確かな世界の現状では、あつというまに道を見失ってしまいます。だからこそ、日々の業務において優れた判断力を使用する助けになる指針—「北極星」という名の道しるべ—を確立しておくことが重要なのです。

アバノスの行動規範は、皆さんの北極星です。アバノスにおいて求められるものを理解する手引きであり、同僚や患者さん、お客様、サプライヤ、ライバル企業、あるいは一般の人々との間に倫理的な問題が発生した時に立ち戻って確認する主たるリソースです。アバノスのすべての従業員は、当社の規範とグローバルポリシーを熟知しておかなければなりません。ポリシーの大部分は規範の中に述べられています。

忘れないでください。皆さんは一人ではありません。周りにいる人達は、ともに助け合いながら道を歩むためにここにいるのです。疑問や不安を抱く代わりに、いつでもチームリーダーや人事部門のビジネスパートナー、コンプライアンス部門や法務部門の人達に相談してください。質問や懸念は、「コンプライアンス&倫理ヘルプデスク」に問い合わせることも可能です。

どうぞよろしくお願い致します。

Michelle Ryan Scharfenberg  
倫理&コンプライアンス最高責任者



## なぜ行動規範が必要なのか

アバノスが使命として掲げているのは、革新的な医療機器ソリューションの提供を通じて患者さんの生活の質を改善することです。コンプライアンスは私たちが企業としてどう事業を運営していくかの中核であり、医療機器を専門とする企業として成功するのに不可欠な要素です。

行動規範によって、当社や具体的な状況に適用されるすべての法律や規制、アバノスの方針を説明することはできません。しかし、行動規範は、すべての従業員や委託企業が業務を行う際の倫理的基準の枠組を創出します。多くの場合、これらの倫理的基準は、最低限の法的義務よりも高く設定されています。行動規範は、私たちが自らの事業を倫理的かつ適切な方法で実施していこうと努力する時に参照する重要な指針なのです。

急速に変化し、イノベーションが市場で成功するための鍵を握る世界の中で、私たちは当社のチームがリスクをスマートに判断し、成功を収めるよう望んでいます。それと同時に、私たちは、みずからの価値を実践し、正しい行いをするよう取り組まなければなりません。

行動規範を読み、内容を理解することは、当社の文化と期待を知るための重要な第一歩です。アバノスで成功する上で、行動規範に説明されている倫理基準を理解し、実証すること以上に重要なことはありません。

### 行動規範は私たち全員に適用されるもの

私たちには全員、行動規範を読み、内容を理解する義務があります。行動規範は、世界中のすべてのアバノスの従業員と委託企業に適用されるのです。行動規範は、アバノスの取締役会のメンバーにも適用されます。現地の習慣や文化、法律が規範と異なる基準を定めている場合は、コンプライアンス部門または法務部門に助言を求めてください。私たちは一人ひとりが自らの責任において、行動規範を遵守し、違反の疑いを報告し、違反の可能性に対する当社の調査に協力しなければなりません。

## 恐れずに懸念を共有しよう

行動規範に関わる問題に気づいた時、誰にでも人に話したくない理由は山ほどあるでしょう。本当に行動規範に反しているのか確信が持てない。「面倒なことになる」、あるいは「仕返しされる」のが怖い。自分の責任じゃない。そんなふうを感じるかもしれません。

でも、正しい行いをするということは、率直に話すということです。自分の名前を出すことに抵抗がある場合は、匿名で懸念を共有してもかまいません。懸念事項を申し出してくれる人は、倫理的に職場を維持する上で重要な役割を果たします。皆さんには、当社が迅速に対応し、適切な措置を講じることができるよう、状況を共有する責任があるのです。皆さんが変化をもたらすことのできる最も重要な方法の一つは、職場での倫理に欠ける行為や違法な活動を認識し、それを速やかに報告することです。

## 報復禁止のポリシー

当社では、行動規範に対する問題を誠実に報告する人の権利を守ることに努めています。次の行為を行う人が報復を受けるようなことはありません。

- 当社の規範やポリシー、法律への違反と考えられることを報告する。
- コンプライアンスに関する質問を提起したり、特定の事業慣習や決定、行為について助言を求める。
- 潜在的な違反の調査に協力する。

行動規範に関する懸念を正直に提起したり、当社の調査に誠実に参加したことで、仕事や福利を失ったり、降格や停職、脅迫、嫌がらせ、差別などを受けることはありません。違反行為の調査員として従事する従業員も、この報復禁止ポリシーによって保護されます。

## 正直に報告すること

正直な報告とは、たとえ実際の違反行為が確認できなくても、皆さんが行動規範への違反があったと誠実に確信しているということです。他者に対して報復するため、個人的な対立において有利な立場に立つため、あるいは嫌がらせや威嚇のために報告書を提出することは、正直な報告ではありません。行動規範のもとでの虚偽の報告は、それ自体が行動規範への違反になります。誰かが自分に報復していると感じたら、必ず行動規範への違反として報告してください。

**Q.** 国によって文化や法律は違います。それでも行動規範は国に関係なくすべての人に適用されるのですか？

**A.** はい。本規範に定める行動は、場所に関係なく、世界中のすべての従業員と委託業者に適用されます。現地の習慣や文化、法律が規範と異なる基準を定めている場合は、コンプライアンス部門または法務部門に助言を求めてください。

**Q.** チームリーダーが倫理的ではないと思われることをしているのを見ました。でも、違反の疑いというだけで報告してよいのでしょうか。報告することで面倒なことに巻き込まれたり、相手の評判を傷つけることになりませんか？

**A.** いいえ。単に報告するだけで面倒に巻き込まれたり、チームリーダーの評判を傷つけることにはなりません。たとえ結果的に根拠が確認されなくても、正直に行った報告に対して責任を問われることはありません。調査は、関係するすべての人の評判が傷つけられないよう、客観的かつ公平で、秘密が守られるような方法で行われます。本規範に関するあらゆる懸念や報復の報告に対し、徹底的な調査が実施されます。

## 質問や懸念事項の報告のためのリソース

当社が解決しなければならない問題が存在するかどうかを正しく判断できるようにするためには、行動規範の疑いを報告することが極めて重要です。私たち全員に行動規範の疑いを報告する義務が課せられているのはこのためです。本規範について質問がある場合や、違反の疑いを認識した場合、私たちには利用できるリソースがいくつかあります。

### • 所属するチームのリーダー

質問や懸念をチームリーダーに伝えてみましょう。チームリーダーに自分の懸念を話したくない場合や、チームリーダーが適切な措置を講じていないと感じる場合は、以下の窓口にご相談することも可能です。

### • 別のチームのチームリーダー

### • グローバルセキュリティチームのメンバー

Email : [global.security@avanos.com](mailto:global.security@avanos.com)

電話 : 470-448-5000

郵送 : Avanos Medical, Inc.  
5405 Windward Parkway  
Alpharetta, GA 30004 USA  
宛先 : グローバルセキュリティ部門

### • 法務部門またはコンプライアンス部門のメンバー

就業場所の法務部門やコンプライアンス部門のメンバーに連絡してもかまいません。

アバノス本社の相談窓口でも相談できます。

Email : [ComplianceSupport@Avanos.com](mailto:ComplianceSupport@Avanos.com)

電話 : 470-448-5000

郵送 : Avanos Medical, Inc.  
5405 Windward Parkway  
Alpharetta, GA 30004 U.S.A.  
宛先 : 倫理&コンプライアンス部門または法務部門

### • 人事部門のメンバー

所属する事業部門または所属国の人事担当者に相談することも可能です。

## コンプライアンス&倫理ヘルプデスク

<https://app.convercent.com/en-us/LandingPage/c6d2b4bb-4bbb-e811-80e6-000d3ab6ebad>

該当法により、特定の国ではコンプライアンス&倫理ヘルプデスクが利用できない場合があります。

## 会計に関わる慣習や社内管理への違反

当社の会計に関わる慣習や内部の会計管理、監査慣習の不遵守は、アバノスや株主に深刻な影響を生じさせるおそれがあります。これらの問題について懸念がある場合は、次の窓口まで懸念を報告してください。

### • 法務担当責任者

電話 : 470-448-5000

郵送 : Avanos Medical, Inc.  
5405 Windward Parkway  
Alpharetta, GA 30004 U.S.A.  
宛先 : 法務担当責任者

または

### • 監査委員会の議長

郵送 : Avanos Medical, Inc.  
5405 Windward Parkway  
Alpharetta, GA 30004 U.S.A.  
宛先 : コーポレートセクレタリー

または

### • コンプライアンス&倫理ヘルプデスク

**Q.** 懸念があるのですが、それが行動規範の内容には書かれていません。書かれていないことは問題ないということでしょうか？

**A.** 行動規範に網羅されていない疑問や倫理的状況もあるかもしれません。何かがおかしいのではないかと思ったら、チームリーダーか、もしくはこのリソースのセクションに挙げた他の人達に尋ねてください。

## コンプライアンス&倫理ヘルプデスクとオンラインでの報告

誰もが匿名で行動規範に関する懸念を報告できるよう、ヘルプデスクの番号とオンラインシステムを設けています。皆さんが提示する情報を受領するのは、外部の独立した企業です。ここには、世界中の多くの企業の行動規範報告書に対応できるよう訓練を受けた専門家が配置されています。

- 1日24時間、年中無休で利用できます。
- 多言語に対応しています。
- 匿名で報告することができます。

### オンラインでの報告

<https://app.convercent.com>

## 行動規範に対する違反の可能性についての報告を受けたチームリーダーやその他の人々の責務

行動規範違反の可能性のある報告を受けたチームリーダーやその他の人々は、行動規範を維持する上で大変重要な役割を果たすことになります。アバノスでは、チームメンバーに対し、自分の懸念をチームリーダーに話すよう奨励しています。行動規範違反の可能性についての報告を受けるチームリーダーやその他の人々は、行動規範への懸念や報告に日頃から備え、対応方法を理解しておかなければなりません。チームリーダーは、取るべき行動として、

- 皆さんが行動規範の内容を知り、理解しているかどうかを確認するとともに、行動規範に一致する行動のモデルになること。
- チームメンバーによる行動規範や法律への違反を止めるよう行動すること。
- チームメンバーに、懸念があればいつでも話を聞く用意があることを知らせておくこと。
- チームメンバーの疑問や不安を真剣に受け止めること。

行動規範違反の可能性が報告されたら

- 回答する前に、躊躇せずアドバイス（助言）を求めること。
- 行動規範についての問題のエスカレーションに関するプロトコルに従い、すべての懸念事項を適切なレベルと部門に提起すること。
- 懸念を正直に提起したチームメンバーをサポートし、敬意をもって対処すること。
- チームメンバーに懸念が無視されていると絶対に感じさせないこと。
- 規範違反の疑いを報告した人に対して報復が行われないよう徹底すること。

## 行動規範への違反

行動規範に反することは、重大な違反です。当社の行動規範やポリシー、法律に違反した場合、究極的には解雇もありうる懲戒処分が科される可能性があります。どのような結果になるかは違反の種類や重大度によって異なります。本規範への違反が法律違反にも該当する場合は、政府機関や裁判所から、罰金や罰則、刑事訴追、あるいはその他の法的矯正措置が適用される可能性があります。

## チームとともに正しい行動を

私たちは、アバノスの成功は互いへの信頼と尊敬にかかっていると考えています。  
チームワークは、私たちのあらゆる行動の指針となる価値です。



## 結社の自由

当社では、次の項目を含め、従業員の結社の自由に対する権利を尊重するよう努めています。

- 国の法律や慣習に従って組織化する権利。
- 自ら選んだ代表者を通じた団体交渉の権利。
- 選ばれた代表者が当社の従業員に合理的な連絡をとり、みずからの組織の代表となる権利。
- その他の保護された活動に従事する権利。
- これらの活動を控える権利。
- 私たちは、当社のサプライヤやビジネスパートナーにも、同じ原則を遵守するよう求めています。詳細は[サプライヤのソーシャルコンプライアンス基準](#)を参照してください。

## 多様性とインクルージョン、差別の根絶

私たちは、平等な雇用機会を通じて、国を問わない多様な人々を雇用するよう尽力しています。私たちは

- 国を問わない多様な従業員を採用するとともに、専門的な能力の開発を推進し、支援します。
- 人種や民族、肌の色、性別、性的指向、年齢、宗教、信条、国籍、性的同一性、障害、法律で保護されている休暇や退役軍人の身分、あるいは該当法で保護されているその他のカテゴリーに関わらず、従業員の能力、業績、経験、行動に基づいて雇用し、教育訓練の機会を与え、昇進させ、報償します。
- 互いの才能、能力、経験の多様性を認識し、活用します。
- あらゆる視点を受入れ、他者がそれぞれの視点を不安を覚えることなく述べられるよう手助けします。

## 全世界の人々の人権

アバノスは、グローバルベースでの人権の認知に取り組んでいます。人権を保護できるよう考案した一定の基準を定めるとともに、当社のサプライヤやビジネスパートナーにもこれらの基準に従うよう求めています。

- 結社と団体交渉の自由を認めること
- 児童労働を防止すること
- 強制労働や労働力の酷使を防止すること
- 差別を禁止すること
- 労働時間、賃金、福利厚生法を遵守すること
- 安全で健康的な職場を提供すること
- 環境を保護すること
- 汚職行為や贈収賄を禁止すること

詳細は[サプライヤのソーシャルコンプライアンス基準](#)を参照してください。

**Q.** チームリーダーが同僚に対し、本人を不快にさせるような宗教に関わる冗談を言っているのを偶然耳にしました。どのようなことであれ、直接話に割り込むのは気が進みません。どうすればよいでしょう？

**A.** 報告してください。すべての従業員には、同僚やチームリーダーから尊厳と敬意をもって扱われる職場で働く権利があります。たとえ気が進まなくても、この問題は人事部門の担当者か、もしくはコンプライアンス&倫理ヘルプデスクを活用して報告しなければなりません。「質問や懸念事項の報告のためのリソース」を参照してください。

**Q.** 性別のために昇進が得られなかったのではないかと考えています。どうすればよいでしょう？

**A.** 報告してください。アバノスのポリシーには、候補者の性別に関係なく、雇用上の決定を行うよう定められています。不当な扱いを受けたと感じているのであれば、その懸念を報告しなければなりません。「質問や懸念事項の報告のためのリソース」を参照してください。

## 行動に関するアドバイス

サプライヤやベンダーがこれらの人権基準のいずれかに抵触しているのを目撃したり、認識した場合は、その旨を報告してください。

## 職場の安全

私たちアバノスは、労働災害や病気は予防可能であり、排除できると信じています。

どのような生産目標やコスト削減、時間短縮、競争上の優位性であろうと、ケガの防止より価値あるものなどありません。私たちは次の目標を目指して取り組んでいます。

- 安全の徹底を常に最優先事項にすること
- 職場におけるあらゆるケガや病気は予防可能であるという当社の信念を、研究およびエンジニアリング、製品開発、製造、配送、販売などの活動に統合すること
- 該当する労働安全衛生法規に適合する、もしくはこれをしのぐレベルの職場を確保すること
- ベストプラクティスにもとづいて労働安全衛生基準や技術ガイダンスを確立すること
- 労働安全衛生の継続的な向上に努めること
- アバノスの社員全員に対し、安全性の向上に貢献するよう求めること



**Q.** チームリーダーから、生産ラインをスピードアップするため、安全性を欠く慣行を提案されました。目標が非常に重要なのはわかっていますが、新しいプロセスが安全であるとは思えません。どうすればよいでしょう？

**A.** 報告してください。絶対に安全を損なってはなりません。どのような生産目標やコスト削減、時間短縮、競争上の優位性であろうと、ケガの防止より価値あるものなどないからです。すべての従業員は、個人の健康や安全にとって危険であると合理的に認識される作業を拒否する権利があります。「質問や懸念事項の報告のためのリソース」を参照してください。

## 行動に関するアドバイス

日常の業務において、常に次の 3 つの安全上の義務を頭に置いておきましょう。

1. 「自分の身を守りましょう」  
私は、自分が危険だと考える行動や、正しい訓練を受けていない、あるいは適切なツールが与えられていない仕事は行いません。
2. 「同僚を守りましょう」  
私は、私には安全と思えない行動や作業をしている、あるいはしようとしている人がいたら、誰であれ、即座にやめるように言います。また、同僚が正しい訓練を受けていない作業を行わないよう注意します。
3. 「同僚の言葉に耳を傾けましょう」  
私は、誰かにやめるよう忠告されたら、自分のしている作業をすぐに中止します。敬意と善意をもって懸念を解決し、必要であれば、作業を続ける前に、他者に手助けを求めます。

## 敬意を重んじる職場に

私たちは、ハラスメントや脅迫、あるいはその他の不適切な行為のない職場環境を社員に提供しようと取り組んでいます。

ハラスメントには、たとえば次のような例があります。

- 望んでいない口説き、性的な行為の要求、ならびにその他の言動上または身体上の性的な行動
- 人種や肌の色、性別、性的指向、性的同一性、年齢、宗教、信条、国籍、障害、退役軍人の身分あるいはその他の保護カテゴリーに関わる不快な会話、冗談、写真、コメント

不適切な行動には、たとえば次のような例があります。

- 怒りに任せて怒鳴ったり、叫んだりする
- 悪態をつく
- 他者を口汚くののしる
- 脅したり、恫喝する
- 人前でからかう／笑いものにする
- 意図的にグループから除け者にする

**Q.** チームのリーダーを務めています。チームメンバーと私で、ベンダーの担当者とは会食をしました。その際、このメンバーがベンダーの担当者に何回か口説くような発言をしました。これは個人的なことかと思ひ、その時は何も言いませんでした。それでよかったのでしょうか？

**A.** いいえ。チームメンバーの不適切な行動を容認してしまえば、それは許容範囲だというメッセージを与えたことと同じです。チームは、営業での会食でも、オフィスと同じように行動しなければなりません。適切な行動について、そのチームメンバーに忠告する必要があります。

**Q.** 同僚が別の社員を脅していると耳にしましたが、この社員は怖がって報告していません。どうすればよいでしょう？

**A.** **すぐにこのインシデントを報告してください。** アバノスは暴力行為や暴力の脅威を容認せず、すべての報告に対して調査を行います。同僚に対する脅迫やリスクを把握した時点で、あなたには行動すべき責任があります。**質問や懸念事項の報告のためのリソースを参照してください。**

詳細は当社の[雇用上の人権に関するポリシー](#)に記載されています。

## 職場での暴力

攻撃的な行動や暴力、脅迫（直接的、間接的または無言の脅威）、嫌がらせ、恫喝、凶器を一切認めない、安全でセキュリティの守られた健全な環境のもとで、ビジネスを行い、サービスを提供し、従業員や一般の人々を守っていくというのがアバノスのポリシーです。だからこそ、従業員を、顧客を、資産を、情報を、アバノスのイメージを保護することは重要であり、アバノスの全従業員が責任を負っている共通の目標なのです。

職場で脅迫や嫌がらせ、暴力、または暴力に発展する可能性のある行動を受けていると感じたり、そうした行動を目にしている、あるいは（たとえ最初は冗談のつもりでも）その脅威が存在していると思った時は、その行為を直ちに上司や人事、コンプライアンス、法務、グローバルセキュリティなどの部門に報告しなければなりません。

## 薬物とアルコール

**私たちは薬物のない職場を目指して取り組んでいます。**

- 就業中に、アルコールや、非処方薬、麻薬、あるいは刑法で定義されているその他の「規制薬物」を販売したり、使用したり、あるいはこれらを摂取した状態で業務を行ってはいけません。ただし、公認行事に関連するアルコール飲料の提供は例外です。
- 薬物の乱用や依存症の危険について啓蒙するアバノスの意識向上プログラムに参加しましょう。
- 薬物やアルコールの乱用が自分の職務履行や他者の業績に影響を及ぼしている可能性がある場合は、秘密が厳守される各国のアバノスの従業員支援プログラムに問い合わせてください。
- 現地の法律で許可されている場合、従業員が薬物やアルコールを職場で摂取しながら仕事をしていると思われる場合、あるいは従業員が本ポリシーに違反していると会社が信じる理由がある場合には、すべての従業員に対して検査が行われます。すべての求人応募者は、内定後の本採用前の薬物スクリーニングに合格する必要があります。

詳細は[アルコール、薬物、その他の規制薬物に関するポリシー](#)を参照してください。

## 仲間とともに正しい行動を

### 私たちの事業

会社設立以来、公正な取引はアバノスの根源的な価値であり続けてきました。私たちは、誠実さと信頼が長きにわたる関係を築いていくのだと信じています。今日の世界において、私たちがこの価値に忠実であり続ける方法は決して少なくありません。

また、医療機器企業として、私たちに事業のやり方に直接影響を及ぼすいくつかの国際法規が課されています。自分たちのビジョンと使命を遂行するためには、常にこれらの要件を遵守しなければなりません。



## 顧客とサプライヤ

私たちは、顧客やサプライヤとの公正な取引に努めています。

- 顧客やサプライヤの誤解を招く、不実な表現をする、欺く、あるいは不正な便宜を得ようと画策する、といった行為は絶対に行ってはなりません。
- 誤りを把握したら、アバノスの利益になろうとするまいと、正さなければなりません。
- サプライヤを指名する前に、アバノスの購買プロセスに従ってください。
- 品質や価格、サービス、信頼性、人権への取り組みといった事業上の検討事項を踏まえた上で、サプライヤから購入し、顧客に販売しなければなりません。
- 当社を代表して商品やサービスを購入する場合は、すべての潜在的なサプライヤを公正かつ誠実に扱ってください。
- どんなサプライヤにも絶対に、当社との関係が個人的な便宜や贈答品、慈善事業への寄付などによって左右されるようなことをほのめかしてはなりません。詳細は[利益相反に関するポリシー](#)を参照してください。
- 取引を勝ち取るために、あるいは維持するために、贈答品や接待、便宜を供与してはなりません。詳細は[医療従事者との交流に関するポリシー](#)および[汚職防止に関するポリシー](#)を参照してください。
- アバノスのサプライヤは、当社の製品や納入品の製造と流通、サービスの提供の際に、国内および国際的なあらゆる該当法規や要件を遵守するよう義務づけられています。アバノスにおけるすべての契約や発注では、サプライヤに対し、[サプライヤのソーシャルコンプライアンス基準（「SSCS」）](#)を遵守する義務を課さなければなりません。

## ソーシャルメディア

ソーシャルメディア媒体は、個人やビジネスにおける重要なコミュニケーション方法です。ただし、オンラインでの投稿や共有には注意と配慮が必要になります。

- 当社の製品やその臨床的屬性またはベネフィットに関連するソーシャルメディアへの投稿では、販売促進および科学的情報の普及に関するポリシーを遵守しなければなりません。
- 職場で、あるいはアバノスの機器を使用している時にソーシャルメディアを利用しようとする場合、プライバシーが確実に守られると期待することはできません。
- アバノスを代表してソーシャルメディアを使用できるのは、許可を得た従業員のみです。そのような許可を得ていないケースでは、投稿する際に、自分がアバノスの従業員であること、いかなる意見も自分の見解であって、アバノスの見解ではないことを明確にしなければなりません。
- ソーシャルメディア（あるいはその他の媒体）を使用する際には、営業上の秘密、知的財産と著作権、あるいは商標権を有する情報を含め、アバノスの企業秘密や専有情報を絶対に開示しないよう注意してください。
- 礼儀正しく、他者に敬意を払い、適切な判断力をもってオンラインで発言するよう心がけてください。中傷や差別、嫌がらせ、報復にあたるものは、絶対に投稿してはいけません。
- 詳細は、当社のソーシャルメディアガイドラインを参照してください。

オンラインでの投稿について質問がある場合は、チームリーダーや人事部門、コンプライアンス部門、法務部門にお問い合わせください。

## 競争

私たちは、事業を行うすべての国、州および地域において、独占禁止法（または競争法）に準拠した公正な競争を行うよう努めています。私たちは、顧客を不当に扱わず、市場での自由競争を損なわない競争の仕方を他者の影響を受けずに判断することにより、活発かつ倫理的に競争を行います。

独占禁止法への違反に対する罰則は重く、評判を落としてしまったり、多額の罰金や投獄に至る可能性があります。こういった類いの法律を確実に施行するため、各国間の情報共有はますます活発になっています。一すなわち、一つの国での調査があつという間に多くの国に拡大する可能性が高いのです。

## 原則的に

- 価格や販売条件、事業計画、マージン、コスト、入札、生産能力、在庫レベル、販促、割引など、価格設定やマーケティング上の判断に影響を及ぼす可能性のある話題について、絶対に競合他社と話し合ってはなりません。
- 価格の修正、生産量や販売の制限、あるいは担当地域や顧客、サプライヤの分け合いなどについて、絶対に競合他社と合意してはなりません。
- 当社が大きな市場支配力を持っている場合、私たちは、市場を独占する、拘束（購入者が二つめを購入する場合に限って製品を販売）する、競合する再販業顧客間で差別を生み出すような不適切な価格設定を行う、原価未満の価格に設定する、供給を拒否するなどの行為により、その支配力を悪用してはなりません。
- 顧客に対し、当社の製品を当社が設定した価格で販売するよう要求してはなりません。再販価格を提案してもかまいませんが、顧客にその適用を強要することはできません。
- サプライヤや顧客をボイコットするよう、他社と合意してはなりません。
- 自国の法律に関する具体的なガイダンスについて法務部門やコンプライアンス部門に問い合わせるとともに、競合他社との不適切な会話はすべて報告してください。
- 詳細は独占禁止および競争に関するポリシーを参照してください。

**Q.**以前アバノスで働いていた友人と話をしている時に、彼女が現在競合他社に勤めていることを知りました。彼女は今後の製品導入や販売促進のための価格設定を私に質問し、自分の会社のマーケティングや価格設定計画を教えようかと持ちかけてきました。彼女とこのような話をしても大丈夫でしょうか？

**A.**いいえ。会話を終わらせ、直ちにコンプライアンス部門と法務部門に連絡してください。話をしている相手が競合他社の人だとわかった時は、常に注意しなければなりません。不適切な行為に見えてしまう可能性があるからです。話の途中でそのようなことがわかった場合、今のお話のようなビジネスの話題は絶対にしてはいけません。そういった会話は価格設定に関する不適切な合意につながるだけでなく、不適切な合意をしているように見えてしまう場合があります。価格設定の話が出たら、即座にその場を離れ、直ちにコンプライアンス部門や法務部門に連絡してください。

## 当社製品の安全性

製品の品質や安全性を絶対に損なってはなりません。

- 製品の安全性と品質に対する評判は、アバノスの最も価値ある資産の一つです。私たちは、安全で、なおかつ顧客や患者さんに喜んでもらえる製品を提供できるよう真剣に取り組めます。
- 私たちが一番に気にかけているのは、医療従事者や患者さんの健康、安全、福祉です。私たちは、製品の安全性および品質に対する法律上、規制上の要件や業界基準を充足し、さらにこれらを超えた安全性と品質を提供します。あらゆる行動と決定を通じて、医療従事者や患者さんの信頼を得られるよう、日夜献身的に取り組めます。
- 私たちは、すべてのブランドにおいて、安全かつ高品質な製品を生産できるよう取り組めます。原材料の購入に始まり、顧客や患者さんが最終製品を使用するまで、優れた製品の設計と製造を通じ、当社の顧客や患者さんの信頼を維持します。
- 私たちは一人ひとりが、医療従事者や患者さんに求められる安全で高品質な製品を提供する上で何らかの役割を担っています。自分の拠点の製品や業務に適用される品質基準、ポリシー、手順をしっかり把握してください。

**Q.** 製造ラインで原料を受領したのですが、今まで使っていた材料とは明らかに外観が違っていました。汚染されていたのではないかと思います。チームリーダーには、急いで注文品の納入に間に合わせなければならない、そんなことを気にしていないでそのまま使うようにと言われてきました。どうすればよいでしょう？

**A.** すぐに作業をやめ、報告してください。 当社の製品の品質や安全性を損なうおそれがあると感じたことは、絶対に行ってははいけません。いかなる生産目標や時間短縮措置であっても、顧客や患者さんが当社に寄せている信頼を損なってもよいほどの価値はありません。現在行っている作業を中止し、施設の品質リーダーに連絡して、その材料が安全で、当社の品質規格を充足しているか、判断を仰いでください。質問や懸念事項の報告のためのリソースを参照してください。

- 顧客や患者さんが当社に寄せている信頼を傷つけたり、当社の製品の品質や安全性を損なうおそれのあることを絶対に行ってははいけません。
- アバノス製品の品質や安全性に悪影響を及ぼすおそれがあることを目撃した場合は、率直に話すとともに、チームリーダーや施設、事業部門、本社の品質／製品安全部門に直ちに報告してください。

詳細は当社の「品質に関するポリシー」を参照のこと。

## 従業員および患者さんのデータのプライバシー

日々の業務の一環として、当社の多くの人たちは従業員や顧客の個人情報にアクセスすることができます。当社とその従業員には、世界中の法律によって、個人を特定できる情報を保護し、合法的に使用する責任が課せられています。**当社としての責任を果たすことができないと、政府の措置や当社の評判に対する損害、訴訟の可能性、罰金、罰則などが発生するおそれがあります。**これらの情報は、当社のデータのプライバシーに関するポリシーの条件に従って維持し、秘匿性を保ち、使用しなければなりません。

さらに、当社には、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律（HIPAA）のもとでのプライバシーポリシーで認められている場合を除き、国際的な患者さんのプライバシー法により、患者さんの個人情報を絶対に受領したり、要求したり、共有しないという義務が課せられています。

これらの義務を遵守するための方法の一つは、自分たちのハードウェアとデータをサイバー攻撃から守ることです。コンピューターやその他の機器の保護に注意を払わないと、従業員や患者さんのデータを含め、あらゆるデータをハッキングにさらしてしまうことになります。信用できないリンクをクリックしない、扱いに注意を要するデータは電子メールで送信しないなどの行為によって、一人ひとりがサーバーインシデントを防止するための自分の役割を果たさなければなりません。ちょっと一呼吸置きましょう。メールやテキスト、あるいはボイスメールで何かの要求を受け取ったら、情報を要求してきた人に連絡して、本当に必要なかどうかを確認するのです。何かを送る時は、「許容可能な使用に関するポリシー」に従ってください。たとえ意図的でなくても、この要件に違反すると、懲戒処分の対象になる可能性があります。この要件に従わなかった場合に起こりうるリスクは、会社や他者にとってあまりに大きいのです。

## 競合他社に関する情報

通常の業務の過程では、顧客やサプライヤ、競合他社を含め、他の企業についての情報が日常的に入ってきます。この種の競合情報にさらされることは、競争の激しいビジネス環境ではごく当たり前のことです。ただし、競合情報の入手には、法律上、倫理上の制限があります。

- 贈収賄や競合他社に関する内密の調査など、不適切な手段で情報を入手しようとしてはなりません。
- 機密情報の入手を目的に競合他社の従業員を雇用したり、競合他社の従業員に雇用者に関する機密情報を開示するよう働きかけてはなりません。
- 競合他社に関して、機密情報に該当するのではないかとと思われる情報を提供された場合、それが機密情報ではないのかどうか、どのような方法で入手したのかを尋ねなければなりません。情報が適切に入手されたものかどうか不確かな場合は、コンプライアンス部門や法務部門に連絡してください。
- 書面で提供された資料に「秘密」や「社外秘」、「専有情報」などの分類が記載されていたり、その他の何らかの形で機密情報であることがわかった場合は、受け取りを断り、その旨を直ちにメモして、コンプライアンス部門や法務部門に連絡してください。

詳細は次に挙げるポリシー文書を参照のこと。

[独占禁止および競争に関するポリシー](#)

[汚職防止に関するポリシー](#)

## 環境

アバノスは、環境を保護し、天然資源の持続可能な使用を促進していく形態で事業を運営できるよう取り組んでいます。すべての従業員と委託企業は、環境に関する法規や基準を遵守することにより、責任ある市民、環境ステewardシップにのっとった使用者および保護者として行動するよう求められています。

**Q.**競合他社の一つが、私自身も出席する予定の展示会でミーティングを開くという話を聞きました。私がアバノスに所属しているとわかったら、私の出席は認められないかもしれません。顧客のふりをして展示会に行ってもいいでしょうか？

**A.**いけません。身元を偽って競合他社に関する情報を入手することは決して適切ではありません。競合相手に関する情報収集は、遵法的かつ倫理的に行った時にこそ、合法的な事業活動になるのです。また、競合相手と会う場合は、まずコンプライアンス部門や法務部門に問い合わせなければなりません。こういったやり取りは独占禁止法上の懸念を招く場合があるからです。

**Q.**アバノスでの仕事の助けになればと、適用されてきた様々な工程が詳しく書かれた以前の職場の文書をいくつか保管しています。アバノスで使用してもよいでしょうか？

**A.**ケースによりです。その文書に機密情報や専有情報が含まれている場合、アバノスで使用したり、アバノスと共有することはできません。アバノスは、すべての従業員に、以前の雇用者に対する秘密保持契約や非開示契約、あるいはその他の秘密保持義務を遵守するよう求めているからです。はっきりわからない場合は、前の雇用者に確認しましょう。それでも不確かな場合は、機密と疑われる情報を受け入れたり、使用や共有を行う前に、コンプライアンス部門または法務部門に相談してください。

**Q.**私はアバノスで、環境を悪化させたり、環境上の危害を生じさせる可能性のある活動を目撃したことがあります。どうすればよいでしょうか？

**A.**チームリーダーに報告してください。法律あるいは当社のポリシーや手順の違反になる可能性を認識した場合、皆さんにはそれを報告する責任があります。報告されたインシデントや状態は調査され、必要に応じて是正されます。[質問や懸念事項の報告のためのリソース](#)を参照してください。

## 政府

グローバル企業であるアバノスは、事業を運営しているすべての国の法律の対象になっています。私たちは、政府によって適用されるすべての法律、規則、規制を遵守するよう取り組んでいます。この行動規範の遵守は最低限の許容基準を反映したものだということを念頭に置いておかなければなりません。関連のある現地規定や特定の規定が存在し、本規範よりもさらに高い行動基準が義務づけられている場合、より厳格な方の規則が適用される可能性があります（例えば医療従事者とのやりとりなど）。また、自国の国境を越えて企業の運営やその従業員に法律を適用している国も少なくありません。自分の状況に当てはまる法律がよくわからない場合は、必ずコンプライアンス部門や法務部門に確認してください。

また、

- 権限が認められていない限り、アバノスを代表して発言したり、行動しているのではないということを確認するように注意してください。
- 業務に関して政府の職員から連絡を受けたり、政府機関からの照会や調査に関わる情報を提供するように求められた場合には、コンプライアンス部門や法務部門、または規制関連業務担当のスタッフに連絡して助言を求めなければなりません。
- コンプライアンス部門または法務部門に相談せずに、法律や規制、あるいは意思決定に影響を及ぼそうと、アバノスを代表する形で政府の部局や職員に連絡をとってはけません。

## 贈答品、接待、その他の便宜

贈答品や接待、ならびにその他の便宜を受けたり、提供した場合、潜在的あるいは実際の利益相反が生じたり、利益相反であるとみなされるだけでなく、現地法に抵触する可能性もあります。「贈答品、接待、ならびにその他の便宜」とは、有価物のすべてを意味しています。これらの例には、たとえば食事や宿泊、割引、賞品、旅行、チケット、何らかの形態の金銭、株、あるいはアバノスの製品などがあります。ただし、これらに限定されるわけではありません。受け取りや提供が認められる贈答品、接待、ならびにその他の便宜の最大金額について質問がある場合は、コンプライアンス部門や法務部門にお問い合わせください。

### 贈答品や接待、便宜の受諾

アバノス業務の過程で、顧客やサプライヤ、ベンダー、あるいはその他の取引先から贈答品や接待、またはその他の便宜を提供されることがあるかもしれません。受け取ったからといって自分の行動に影響するわけではないと自分では思っているかもしれませんが、中には見返りに何かしなければと考える人もいます。これは、アバノスにとっての最大の利益をビジネスにおいて客観的に判断する能力に影響を及ぼすおそれがあります。こういった状況を防止するため、以下のガイドラインに従ってください。

原則として、アバノスと取引をしている、あるいは取引をする可能性のある人から皆さんが受け取れる唯一の贈答品や接待の類いは以下のとおりです。

- ペンやカレンダー、あるいは事業に関連する小さな販促品など、価額の低い贈答品がたまに提供される。
- 時折、事業の連絡担当者との合理的な価格の食事が提供される。
- 時折、事業の連絡担当者とのスポーツや劇場、あるいはその他の文化的イベントに出席する。

贈答品や食事、イベントの提供を受入れてもよいかどうか確信が持てない場合は、チームリーダーと話し合うか、もしくはコンプライアンス部門や法務部門にお問い合わせください。

**私たちは一人ひとりが次のことを確実に守らなければなりません。**

- 見返りに何かをしたり、何かをすると約束しなければならないという感情を誘発させるようなものを、事業の相手先担当者から一切受け取ってはなりません。
- アバノスの事業を提供する見返りとして、何かを受け取ってはなりません。

これらのガイドラインに適合しないものを受け取ってしまった場合は、返却し、当社のポリシーによってこういった類いのものを持っていることは禁じられている旨を説明しなければなりません。返却が社会の風習に反する場合は、慈善団体への寄付やその他の解決策がないかどうか、チームリーダーや人事部門と話をしましょう。自分に提供された贈答品や接待、便宜がこれらのガイドラインや現地のポリシーに違反しているかどうかははっきりしない場合は、チームリーダーまたは法務部門に相談してください。

## 贈答品や接待、便宜の提供

私たちは、製品やサービスの優れた特徴や利点、品質を土台として取引を獲得できるよう真摯に努力しています。取引を獲得したり、維持する目的で贈答品や接待、便宜を提供することは非倫理的であり、違法になる可能性があります。また、医療従事者への贈答品は、当社の医療従事者との交流に関するポリシーに準拠していなければなりません。事業上の関係や親善を構築したり、維持する目的で、取引先の担当者への適度な贈答品や接待の提供が認められる場合もあります。ただし、これらは最小限にする必要があります。

医療従事者への贈答品は、当社の医療従事者との交流に関するポリシーに準拠するものでなければなりません。医療従事者に対する接待やその他の便宜は、当社の方針にもとづき、厳格に禁じられています。

医療従事者以外の対象に対する贈答品や接待、便宜の場合

- 同じ人や企業に対して、頻回に贈答品や接待、便宜を提供してはいけません。
- 贈答品や接待、便宜は、状況から考えて合理的で適切なものにとどめてください。
- アバノスと取引しなければならないという義務感を他者に抱かせるような贈答品や接待、便宜の提供は行わないでください。
- お互いを尊重するという当社の誓約に反するような贈答品や接待は提供しないでください。
- 自分が他社の贈答品や接待に関するポリシーに違反していないかどうかを確かめてください。
- 現金や小切手、為替、商品券、クーポン、貸付け、あるいはその他の類いの金銭や金銭に相当するものは、絶対に提供してはいけません。
- 自分の地域／国に該当する現地のポリシーを遵守するよう徹底してください。

**Q.** 私はアバノスの費用でワールドカップの高額なチケットをベンダーに提供し、後日、同じベンダーからさらに高額なオリンピックのチケットを受け取りました。これは大丈夫ですよね？

**A.** いいえ。どちらも間違っています。ベンダーに高価な贈答品を提供することはできません。また、高い贈り物をしたからといって、さらに高額な贈り物を受け取れることにはなりません。

**Q.** アバノスとの取引を希望するベンダーが、少なくとも月に2回は私を昼食に連れていってくれます。これは大丈夫でしょうか？

**A.** ケースによります。ビジネスの目的で会う場合は、昼食の招待を受け入れは問題ありません。ただし、頻繁な会食や贅沢な食事は利益相反を生むと判断される可能性があります。ベンダーからしきりに昼食に誘われる場合は、チームリーダーに相談してください。ベンダーに本規範を伝え、ランチミーティングは時々留めておきましょう。

**Q.** ベンダーから、完了した自分のプロジェクトの廃材を私の家に提供するという申し出がありました。プロジェクトは終了しており、アバノスではどっちみち廃材を廃棄する予定です。これは受け取ってもいいのでしょうか？

**A.** いいえ。絶対にアバノスのベンダーから個人の使用を目的に物を受け取ってはいけません。

## 行動に関するアドバイス

500ドルもするイタリア製陶器など、ベンダーから高価な贈り物を受け取ったことで解雇に至った例があります。

## 政府関係者に対する贈答品や接待、便宜

ほぼすべての国では、贈収賄と汚職を防止するための法律が定められています。さらに、国によっては、同国内におけるアバノスの従業員の行動だけでなく、アバノスの系列会社やアバノスの代理人、あるいはアバノスの利益のために他者が外国において行う活動にも汚職防止法が適用される場合があります。これらの汚職防止法に違反した場合、会社が重大な罰則を受け、社会的な評判を著しく損なってしまう可能性を否定できません。

当社の汚職防止に関するポリシーを常に遵守する必要があります。金額に関係なく、また、直接的であろうとなかろうと、政府による公式な決定を促したり、働きかけたり、あるいは不適切な利点を確保するといった目的で有価物の提案や約束、提供を行ってはいけません。禁止される可能性のある支払いには、例えば現金の贈り物、食事、接待、事業機会、当社の製品、雇用の申し出や実際の雇用、慈善団体への寄付などがあります。また、政府関係者に「ファシリテーションペイメント（便宜を図ってもらったり、業務を進めてもらうための金銭の供与）」や「迅速化のための支払い」を行ってはいけません。こういった行為はいずれも贈収賄や汚職とみなされるおそれがあります。

政府職員が医療従事者と判断される可能性がある場合、そういった人との交流にはさらに厳格な規則が適用されることとなります。

賄賂を贈ったり、受け取ったりしてはいけません。また、他者のそういった行為を防止しなければなりません。質問がある場合は、法務部門やコンプライアンス部にお問い合わせください。こういったケースでは、常に当社の医療従事者との交流に関するポリシーに従ってください。

**Q.** 政府関係者とは誰ですか？

**A.** 政府関係者とは、公務員や環境・衛生検査官、税関職員、立法機関の職員、国公立病院の職員など、政府や政府が管理する企業、政党によって雇用されているすべての人をいいます。

**Q.** 海外へ出張するためのビザを出発に間に合うように取得するには、その国の大使館の職員に余分にお金を支払う以外にありません。これは認められますか？

**A.** いいえ。ほとんどの国の法律はこのような性質の支払いを禁止しており、当社も、いかなる国であれ、こういった支払いは認めていません。

**Q.** 当社のとある代理店の営業担当者から、この担当者が現地の自治体が運営する病院に勤務する医師達に提供している食事や接待の話を知りました。食事は過度に豪華な印象を受けましたし、医療従事者への接待の提供は禁止されているはずだと思いました。どうすればよいでしょう？

**A.** 直ちにコンプライアンス部門もしくは法務部門に連絡してください。米国の連邦海外汚職行為防止法や同様の国際的な贈収賄防止法のもとでは、当社が販売代理店の行為に責任を負わなければならない可能性があります。これはすなわち、私たち自身が禁じられていることは、当社の販売代理店もできないということです。当社の医療従事者との交流に関するポリシーは、医療従事者とのあらゆる交流に適用されます。また、汚職防止に関するポリシーは、政府の所管する病院を含む政府機関とのあらゆる交流に適用されるのです。

**Q.** 製品に許可がほしいのなら、余分にお金を払う必要があると税関職員に言われました。これは認められますか？

**A.** いいえ。ほとんどの国の法律は、いかなる状況であれ、このような性質の支払いを禁止しており、当社も、いかなる国であってもこういった支払いは認めていません。

## 国際的なビジネスの展開

人や製品、技術、ソフトウェア、情報、金銭、機器、予備部品が頻繁に国境を越えて移動するグローバル企業として、当社は所在する場所にかかわらず、適用されるすべての法規制を遵守することに尽力しています。



人や製品、技術、ソフトウェア、情報、金銭、あるいは機器の国境を越えた移動に関与している場合

- 適用されるすべての輸出入法や規制を理解し、これらを遵守しなければなりません。
- 禁止行為に関わってはなりません。
- ボイコットに関連する要請はすべて、コンプライアンス部門または法務部門に報告しなければなりません。
- 自分の果たすべき義務について不明な点がある場合は、コンプライアンス部門、法務部門または輸送・貿易コンプライアンス部門に問い合わせ、最新のガイダンスを確認してください。
- 当社の汚職防止に関するポリシーを必ず遵守してください。

**Q.** 消費者に直接製品を販売するため、新しいeコマースのウェブサイトの立ち上げに着手しています。消費者情報のデータベースを効率的に管理できるよう、他国に拠点のあるサービスプロバイダと契約したいのですが、これは問題になるでしょうか？

**A.** ケースによります。コンプライアンス部門または法務部門に相談してください。消費者情報を含むデータベースを他国のサービスプロバイダと共有する場合、データのプライバシーに関する問題が生じる可能性があります。個人情報プライバシーを確実に維持するための規制構造は、国/地域によって異なるからです。国によっては、消費者データを他国にエクスポートすることで、プライバシー規制に違反してしまう可能性も考えられます。

## 会社とともに正しい行動を

私たち一人ひとりに、会社の資源を保護し、会社との利益相反を回避する義務があります。

### 利益相反

社の事業を実行する際、私たちは一人ひとりが、会社にとっての最善の利益を考えて行動し、実際の利益相反やその可能性、あるいは利益相反と認識される行為を回避する義務を負っています。利益相反は、個人的な利益や活動、関係がアバノスに対する客観性とロイヤルティを妨げてしまう時に起こります。例えばアバノスとの取引契約の締結に対するキックバックの支払いなど、明らかに利益相反とわかるケースもあります。ただし、中には、例え最高の価値を提供すると思われるケースであっても、近親者が所有する企業と取引を行うなど、目には見えにくい利益相反も存在する可能性があるのです。実際の利益相反やその可能性、あるいは利益相反と認識される行為について懸念がある場合は、チームリーダーやコンプライアンス部門、法務部門に相談してください。私たちはそれぞれ、一人ひとりが次のことを心がける必要があります。

- 当社との利益相反を生じさせる、あるいは生じさせられると思われる行為を避けること。
- 絶対に、アバノスでの立場を利用して不適切な個人的利益を得ようとししないこと。
- 自分自身や家族、アバノスの別の従業員、あるいはアバノスのビジネスパートナーが実際の利益相反やその可能性、あるいは利益相反と認識される行為に関わっていると思われる場合は、チームリーダーやコンプライアンス部門、法務部門に連絡し、関係を精査してもらうこと。

**実際の利益相反やその可能性には、次のような例があります。**

### 社外での雇用

- 皆さんや近親者が、競合他社やサプライヤ、顧客に雇用されている、サービスを提供している、あるいはこれらから支払いを受けている場合。
- 皆さんや近親者がアバノスと取引している会社を所有している場合。
- (例えばアバノスで就業すべき時間を社外での雇用に割くなどして) アバノスでの職務の遂行能力を妨げるような社外の雇用を受けていたり、業務上の利害関係がある場合。

- アバノスのベンダーやサプライヤ、顧客、委託企業と、(アバノスではなく) 自分の個人的便益の側に立って業務を行っている場合。

### 金銭的利害関係

- 皆さんや近親者が、個人が所有するアバノスのサプライヤや、アバノスの競合企業、顧客に投資していたり、これらの企業とその他の金銭的な利害関係がある場合。
- 皆さんや家族がアバノスのいずれかの競合企業やサプライヤ、顧客の株式の1%以上を所有している場合。

**Q.**アバノスのベンダーのオーナーである友人から、この友人の会社に投資するよう頼まれました。私のアバノスとの利害関係を申告すれば、このような投資を行うことはできますか？

**A.**いいえ。アバノスのベンダーへの投資は利益相反であり、利害関係を開示しても相反が解消されるわけではありません。

**Q.**ベンダーから同社のミーティングで話をしてくれるよう依頼されました。これは大丈夫でしょうか？

**A.**ケースによります。外部のイベントで話をする前に、まずチームリーダーの承認を得てください。部外者に発表を行う際は、社外秘の情報は開示できません。例えばベンダーがアバノスから有利な扱いを受けるなどといった利益相反の原因になりうる場合は、費用の支払いを受けてはいけません。

## 公共サービス

- アバノスに関わる問題について検討している慈善団体やその他の組織でボランティア活動をしている場合。
- 勤務時間中に慈善活動のための資金を集めている場合（アバノスがスポンサーになっている場合は除きます）。
- 皆さん自身が顧客やサプライヤに慈善目的の寄付を依頼している場合（アバノスがスポンサーになっている場合は除きます）。
- 皆さん自身が顧客やサプライヤから慈善目的の寄付を依頼されている場合（アバノスがスポンサーになっている場合は除きます）。

## 講演や発表

- 皆さんがアバノスの仕事に関連して外部で行った講演や発表に対して料金が支払われた場合。

## 個人的関係

- 自分の近親者やパートナーの監督者である、あるいはこれらの人々の監督を受けている場合。
- 従業員や委託企業として自分の近親者またはパートナーを雇い入れるよう検討している場合。

## 役員会

- 役員への任命を受け入れる方向で検討しているが、役員会への関与によって自分の仕事が妨げられるのではないかと懸念される場合。
- アバノスに影響を及ぼす可能性のある意思決定について検討する役員会の一員である場合。

## 政治的関係

- 勤務時間中に政治運動に従事している場合。
- 皆さんがアバノスを代表して話していると聞き手が考えるような状況において、自分の政治的見解を表明している場合。
- アバノスに代わって政党や政治家候補に寄付や支払いを行っている場合。

詳細は[利益相反に関するポリシー](#)を参照してください。

**Q.** 私の兄弟は電気工事業者で、当社のある製造施設の近くに拠点を構えており、工場に業務を提供したいと考えています。兄弟がアバノスの施設で業務を履行することは可能でしょうか？

**A.** ケースによります。あなた自身がこれらの業務調達の責任者ではなく、選定プロセスに関与していない限り、ご兄弟はアバノスに業務提供の申し出を行うことができます。この場合、ご兄弟の会社は既定の選定プロセスを受け、アバノスの判定基準に適合しなければなりません。また、このような状況について、チームリーダーに話をしておく必要があります。

**Q.** 私の妻は、私が購買責任者である製造施設に長年にわたって物流サービスを提供してきた会社を所有しています。最初にアバノスに入社した時にこのことを伝えたところ、問題はないと言われました。でも、この2年間で妻の会社は大きく成長し、現在では工場の物流サービスの70%を提供しています。このような状況でも問題はないでしょうか？

**A.** ケースによります。このケースには明らかな利益相反が存在し、アバノスに損害を及ぼす可能性があります。法務部門に相談し、詳しい助言を求めてください。

## 行動に関するアドバイス

事前の許可がない限り、社のプロセスや機器、機械の写真を第三者に電子メールで送信してはいけません。

## 機密情報

私たちは、複雑で競争の激しい様々な市場で事業を運営しています。従業員と委託企業の誰もが、機密情報や企業秘密は会社の他の資産と同じように保護しなければならないことを認識しておかなければなりません。機密情報は最も厳重に保管し、これらの情報を扱う際には、不注意や不適切な形で開示されることがないように、合理的な注意を払う必要があります。また、データや機器をサイバー脅威から保護することも、機密情報を守る上では非常に重要です。「許容可能な使用に関するポリシー」に従い、情報や会社の保護における各自の役割に努めてください。

当社では機密情報の保護に厳格に取り組んでいます。業務の過程で、社内の多くの人々が次のような機密情報にアクセスする手段を与えられています。

- 事業計画（買収や処分の可能性を含みます）
- 価格設定戦略
- 財務情報
- 特許または商標の申請
- 製品開発や研究開発情報
- 給与、医療、連絡先などを含む従業員の情報
- 製造方法
- 顧客情報とデータ

適宜、文書上の秘密保持契約のもとで、適切に許可された正当な目的で行われる場合を除き、たとえ家族であっても、事業上の機密情報を社外の人に開示してはなりません。これらの情報は、雇用における責務の履行以外の形態で使用することはできません。たとえ社内や同僚の間であっても、機密情報の共有は必要性がある場合のみにとどめてください。

買収や製品回収、組織変更、顧客やベンダーとの関係、財務情報、従業員の個人情報（住所、電話番号、従業員番号など）、あるいは取扱いに注意を要するその他の情報などの機密情報を社外の人に開示した場合、当社の競争上の立ち位置や株主に害を及ぼす可能性があります。機密情報を守るため、各自がすべき役割を果たしてください。

**Q.** リーダーから秘密情報のメールでの送付など、通常と異なる要請や想定外の要請があった場合、当然、要請に応じて情報を返信しなければなりませんよね？

**A.** ちょっと一呼吸おいてみましょう。時には要請が合法的でないものがあるからです。まず、本人に電話して要請の内容を確認しましょう。いやな対応をされることはないはずです。その後、特定した業務プロセスに従い、電子メールではない方法で機密情報を安全に送付してください。不審なメールやボイスメール、テキストメッセージは IT 部門のセキュリティーチームに報告し、詐欺と思われる要請を受領した場合は、事業チームが特定しているプロセスに従ってください。

**Q.** 最近のことですが、シニアマネジメントに、ある企業の買収の可能性についてプレゼンを行いました。プロジェクトチームから、このプレゼンを SharePoint のサイトに掲載するよう要請されています。これは受け取ってもいいでしょうか？

**A.** 慎重にお願いします。Sharepointサイトに機密情報を掲載する前に、皆さんは各自の責任として、プロジェクトチームや許可を得たその他の人達以外は閲覧できないよう、アクセスが制限されていることを確かめなければなりません。また、制限すべきだと感じる情報に皆さん自身が SharePoint サイトでアクセスできる場合は、直ちに法務部門に通知する必要があります。

## 行動に関するアドバイス

アバノス社外との共有内容には注意しましょう。同僚の氏名や電話番号、電子メールアドレスの共有であっても、状況によっては不適切な場合があります。会社に害をもたらしたり、法的な問題の原因になったり、ケースによっては同僚に危害が生じる可能性だってあるのです。アバノスの機密になりうる情報を社外に開示する前に、まず法務部門に連絡してください。

- エレベーターや飛行機、レストランの中や、携帯電話を使用する時など、公共の場で社の事業について話し合う際には十分に注意してください。
- 画面を人に見られるおそれがある場合、機内でノートパソコンを使用して会社の業務に関する作業を行ってははいけません。
- 投資家やアナリスト、メディアからの質問は、本社広報部門やインベスターリレーションズ部門に回してください。
- 機密情報について尋ねられていると思われる社外からの質問は、ComplianceSupport@Avanos.com に回してください。
- 適切な書面上の許可がない限り、誰であろうと、社の施設への立入りは許可しないでください。
- アバノスに関する非公開情報を株式や有価証券の取引に使用してはいけません。
- 当社株式の売買における妥当性について質問がある場合は、法務部門に問い合わせてください。
- 常に当社のインサイダー取引に関する手順書に従ってください。

ソーシャルネットワーキングのサイトやブログ、ウィキなどのメディアツールには、他のコミュニケーションと同じルールが適用されます。買収や製品回収、組織変更、顧客やベンダーとの関係、財務情報、従業員の個人情報（住所、電話番号、従業員番号など）に関する情報を投稿してはいけません。投稿してしまうと、その後に削除したとしても、当社の競合企業を含め、これらの情報が世界中のあらゆる人にさらされてしまいます。社がその情報を公開していることがはっきりしている場合を除き、会社についての情報は機密情報であると考えなければなりません。また、雇用の過程で作成または取得したファイルや記録、報告書は、すべて当社の所有物です。

## 社のリソースの使用

私たちは、みずからの管理下にあるリソースの保護に尽力しています。会社のリソースには次のようなものがあります。ただし、これらに限定されるわけではありません。

- 機器、機械、工具、予備部品
- 製品在庫や備品
- 電話、コピー機、FAX 機
- コンピューター、ノートパソコン、携帯電話、タブレット、プリンター、ならびにその他の電子機器
- 電子メールおよびインターネットアクセスのためのシステムとツール
- 機密情報および記録
- 発明およびアイデア
- 商標、著作権、特許
- 企業秘密や計画
- 受取債権
- 事業上の関係
- 評判

**私たち一人ひとりが、次の事項を守らなければなりません。**

- 会社のリソースを責任を持って使用し、誤用や無駄がないよう徹底すること。常に当社の評判を尊重し、守ること。
- 予算、経費、ならびにその他の資金を的確に管理すること。
- 効率を最大限に高め、経費を最小に抑制できるように考案されているアバノスの出張規則と経費に関するポリシーに従うこと。
- セキュリティ手順に注意し、会社の資源の喪失や盗難、誤用につながる可能性のある状況について警戒すること。
- 不明の送信者からのリンクをクリックしたり、情報要請に対応する際は、一見社内からのものであるかのように見えても、十分に注意すること。（ハイパーリンクやメールの内容を精査し、正当なものかどうかを判断しなければなりません。疑わしいメールがあれば、IT サイバーセキュリティチームに報告してください。）
- アバノスの資源の個人的な使用は最小限に留めること。業務上の責任から注意が逸れることなく、また、アバノスのポリシーや手順に準拠している限り、時々であれば、個人的なメールやウェブへのアクセスにコンピューターを使用したり、コピー機や FAX、電話を使用することが可能です。
- 友人や家族を含め、他者にアバノスのリソースを使

用させないこと。

- アバノスのコンピューターを使用する際は必ず自分のユーザ ID とパスワードを使用し、絶対に自分のパスワードを誰かに教えないこと。
- アバノスのコンピューターやモバイル機器では、IT 部門が承認したソフトウェアのみを使用すること。ソフトウェアのライセンスによって認められている場合を除き、ソフトウェアを機器間でコピーすることはできません。
- 会社の資産は慎重に取り扱い、喪失や損害につながる可能性のある使用を避けること。

**Q.** リンクが記載された電子メールを受信した場合、どうすればよいですか？

**A.** 電子メールとリンクを慎重に確認してください。メールが一見知っている人からのものであるように思われても、アカウントがハッキングされていたり、フィッシングメールの可能性があるので、スペルミスや文法上の誤りがないかどうかを調べましょう。メールやリンクに何か気になることがないか、よく考えてみてください。想定されるメールでしたか？少しでも疑わしいと思われる場合は、「不審なメールの警告」ボタンをクリックしてください。クリックしたことを後悔する必要はありません。二重のチェックをするに超したことはないのです。

## 記録の保管

私たちは当社の活動と取引を正確かつ公正に提示した社内記録を作成し、法律や当社の記録保管スケジュールに定められている期間にわたってこれらの記録を維持管理するよう取り組んでいます。

社内記録の例を以下に提示します。

- 契約書
- 請求書
- 雇用記録
- 経費報告書
- 実験ノート
- インポート／エクスポート文書
- 製造および生産報告書
- 品質記録
- 研究開発試験
- 環境に関する記録
- 営業活動報告書

当社では、該当法規の規定に従い、記録の適正な管理、維持、保管に関するポリシーを定めており、私たちは一人ひとりがこれらのポリシーを遵守する責任を負っています。これはすなわち、記録が真実かつ正確なものであり、職務上必要とする人々が利用できるよう適切に保管され、法律や当社の記録保管スケジュールの規定によってそれ以上保管する必要がなくなった場合に正しい方法で廃棄されなければならないことを意味しています。

**Q.** 当社の記録保管ポリシーには、電子メールは一定期間しか保存しないよう定められていますが、私はメールをすべてサムドライブに転送し、ずっと取っておきたいと思っています。アバノスのストレージスペースは使用しません。保管期間が終わった後も必要になるメールがあることがわかっているからです。このような形で保管しても構いませんか？

**A.** いいえ。私たちは全員、法律や当社の記録保管スケジュールの規定によってそれ以上保管する必要がなくなった場合に、メールなどの記録を廃棄する義務があります。



## 財務報告

アバノスは、財務に関する情報を公正で正確、なおかつ適切な時期に開示するよう努めています。財務情報の報告には、最高水準の公正さと誠実さが重要です。

当社の会計記録や財務記録の完全性は、帳簿や勘定科目への入力を裏付ける基本的な情報の正確さと完全性が土台になっています。不正な報告や誤解を招くような報告を行った場合、当社の評判や投資家に及ぼす損害は重大なものになる可能性があります。

また、正直でない財務報告は、関与した個人や当社への民事罰や刑事罰につながる可能性も否定できません。社内または社外の財務報告書への虚偽情報や誤解を招くような情報の記載は固く禁じられています。

すべての従業員と委託業者は、当社の財務上の健全性を徹底する上で、次のような役割を担っています。

- 取引が適切に許可され、適切なタイミングで正しく記録されていることを確認すること。
- 会社の資産を適切に保護し、定期的に資産記録を実際の資産と照合すること。
- 妥当な事業上の経費のみを申請し、払い戻しの承認を行うこと。
- 当社の「会計に関する指示事項」に従い、会計記録の正確さと信頼性を徹底すること。
- 会計基準およびアバノスのポリシーにもとづいて会計上の決定を行うこと。
- 当社の帳簿や記録、あるいは公開される開示情報にも、また、社内や社外との通信においても、虚偽または裏付けのない記述や記入を行わないこと。
- 不明の宛先にはシステムへのアクセス認証情報や個人情報を送信せず、当社の財務データを適切に保護すること。また、受信者が社内の人であっても、取扱いに注意を要するデータはメールでは送信しないこと。

報告された情報に漏れや改ざん、不正確な点があることに気づいた場合は、行動規範上の問題のエスカレーションに関する手順書に従って速やかに情報を伝達してください。

**Q.**年度末が近く、予算が残っています。今年の予算に充てられるよう、来年の予定がはっきりしている経費を前倒しすることはできますか？

**A.**いいえ。経費は正しい会計処理期間に記録しなければなりません。活動経費は発生した年に請求してください。翌年に行われる活動に対して今年の前払いが必要な場合は、現地の財務チームに連絡し、その項目を前払費用として記録してください。

**Q.**私のチームは、チームリーダーから、たとえ何時間でも、生産目標を達成するのに必要な時間は作業するよう要求されています。ところが、時間外労働を禁止する「不文律」があるようで、勤務時間報告には40時間しか記載できないようになっています。どうすればよいでしょうか？

**A.**報告してください。現地のポリシーや法律、団体交渉協約に従って、常に、実際に作業した時間数を報告しなければならないことになっています。チームが残業している場合は、その残業を正確に報告しなければなりません。時間外勤務が認められない場合は、勤務が完了した時点で作業をやめてください。「サービス残業」は絶対にしてはいけません。質問や懸念事項の報告のためのリソースを参照してください。

**Q.**チームリーダーから4万ドルの発注書を作成するよう要請されましたが、リーダーの承認権限は2万ドルです。リーダーよりも上のレベルから承認を得なくてもすむよう、要請を2つの発注に分割してもよいですか？

**A.**いいえ。4万ドルの発注書を作成し、必要な承認を得てください。チームリーダーに異議を唱えることに抵抗がある場合は、コンプライアンス部門やコンプライアンス・倫理ヘルプデスクに報告してください。質問や懸念事項の報告のためのリソースを参照してください。

## 不正防止

一切の不正行為は厳しく禁じられています。アバノスは従業員の皆さんと委託企業に対し、次のことを求めています。

- 会社の資材や資金、財務報告システムに関わる作業をする際には、正直かつ誠実に行動してください。
- 不正を防止し、検知し、報告してください。

不正行為の例には次のようなものがあります。

- 現金や在庫、製品あるいはその他の資産を盗用すること。
- 会社の資金を利用して、個人の利益のために機器や備品、資材を購入すること。
- アバノスとの取引を提供する見返りとして、サプライヤから金品を受け取ること。
- 虚偽または誤解を招くおそれのある申請を提出し、払い戻しを求めること。
- インシデントによるケガや影響がなくなったにもかかわらず、「労働者」災害補償を受け取ること。
- 回収可能な資産や負債を帳簿から抹消すること。
- 個人的利益のために会社の資産を使用すること。
- 納入／売上の前に計上すること
- タイムカードや勤務時間報告を偽造すること
- 有効でない会計システムに入力すること。
- 受領していない商品や実施されていないサービスに対する支払いを許可すること、または支払いを受け取ること。
- 実際に作業していない時間や、実際に発生し、記録されたものではない経費に対する支払いを許可すること、または支払いを受け取ること。
- あらゆる類いの偽造

**Q.**顧客から、来月行う予定になっている納入について、今月の売上として記録してくれと頼まれました。どうすればよいでしょうか？

**A.**してはいけません。このような操作は当社の財務業績に影響を及ぼす可能性があり、不正とみなされます。この顧客に関して直面している問題を把握してもらえよう、チームリーダーとよく話し合ってください。

**Q.**週末に、私は誤って会社のクレジットカードを使用し、個人として使っている車にガソリンをいれてしまいました。これは問題になるでしょうか？

**A.**いいえ。誰でも間違えることはあります。必ず次の経費報告書にその旨を記載し、請求に該当する額の支払いを行ってください。ただし、習慣的な問題の場合は、懲戒処分の対象になってしまう可能性があります。

## 正しい行動にこだわるのがアバノスの流儀

まず、行動規範を熟読することが出発点になります。皆さんの一人ひとりが常に倫理的に、法的に、そして行動規範を遵守して行動するよう求められています。正しいやり方で事業を進めることはアバノスの流儀であり、社の健全性と成長に不可欠です。一人ひとりが自らの責任において、規範を遵守し、違反の疑いを報告し、違反の可能性に対する当社の調査に協力しなければなりません。行動規範に関する懸念を正直に提起したことで、仕事や恩恵を失ったり、降格や停職、脅迫、嫌がらせ、差別などを受けることはありません。

本行動規範は、顧客、サプライヤ、他の従業員や委託企業、競合他社、そして一般の人々に対応する際の「正しい」行動とは何なのかについて、指針を提供できるよう作成されたものです。疑問に答えを提供したり、違反を報告するために利用できるリソースは数多く用意されています。本規範の P. 5「質問や懸念事項の報告のためのリソース」を参照してください。

「皆さんが、日々、正しいことを正しい方法で行い、当社の行動規範に献身的に取り組むことは、前向きで生産的な職場を築き上げる大きな助けになります。そんな職場こそが、私たち全員にふさわしい場所なのですから」

**Joe Woody**  
最高経営責任者